第 15 回日本適応医学会学術集会　プログラム

(1)　6月 24 日（金）

11:30～11:55　理事会
11:55～12:20　評議員会
12:20～12:50　編集委員会

12:55～13:00　開会の挨拶

13:00～14:00　一般演題　座長：和泉　徹（北里大学）
百村伸一（自治医科大学さいたま医療センター）

演題 1　虚血性心筋症（ICM）と非虚血性拡張型心筋症（DCM）の左室（LV）機能障害における線維化の関与
〇白木克典（浜松医科大学第三内科）

演題 2　未治療本態性高血圧症における肥満指数の影響
〇中田佳延（東京慈恵会医科大学循環器内科）

演題 3　拡張型心筋症マウスにおいて、アンジオテンシン受容体拮抗薬は収縮蛋白系 Ca 感受性の改善なしに心収縮力及び予後を改善する
〇本郷賢一（東京慈恵会医科大学循環器内科）

演題 4　The involvement of omega-6 polyunsaturated fatty acids in regulating vascular tone via cAMP-related pathway
〇Wei, Jia-Zhang（浜松医科大学臨床薬理学講座）

演題 5　テロメラーゼ阻害剤が小型霊長類コモンマーモセット胚性幹細胞の初期分化に及ぼす影響について
〇前田豊樹（九州大学病院別府病院循環・呼吸・老年病内科）

演題 6　下半身陽圧負荷ならびに歩行運動が下肢体液動態に及ぼす影響
〇松尾　聡（鳥取大学医学部適応生理）

14:00～14:30　教育講演Ⅰ　座長：梅村和夫（浜松医科大学薬理学講座教授）
『脳の鉄代謝調節とその破綻による神経変性症』
演者：宮嶋裕明（浜松医科大学第一内科教授）

14:30～17:00　シンポジウム 1　『心血管系における細胞死と老化』
座長　三浦哲嗣（札幌医科大学内科学第二講座）
新村　健（慶應義塾大学医学部老年内科）

S1-1　グルコース代謝と細胞死/老化
〇佐野元昭（慶應義塾大学医学部）

S1-2　心臓老化におけるインスリン・シグナルの役割

○塩井哲雄（京都大学大学院医学研究科循環器内科学）

S1-3　心不全の発症進展における長寿関連蛋白SIRT1の機能とその分子機序
○丹野雅也（札幌医科大学病院第二内科）

S1-4　老化からみた生活習慣病
○南野　徹（千葉大学大学院医学研究院循環病態医科学）

S1-5　スタチンによるSIRT1/eNOSを介した血管老化抑制機構
○大田秀隆（東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座）

17:00～18:00　特別講演Ⅰ　座長：林　秀晴（浜松医科大学第三内科）
『禅から学ぶ心を楽にする作法』
演者：高田明和（浜松医科大学名誉教授・昭和女子大学客員教授）

18:00～19:00　特別講演Ⅱ　座長：武田信彬（東京慈恵会医科大学青戸病院内科教授）
『震災後のこころのケア』
演者：森　則夫（浜松医科大学精神神経科教授）

19:10～　会員情報交換会

(2)　6月25日（土）

08:50～09:00　総会

09:00～10:00　一般演題　座長：牧野直樹（九州大学別府病院循内科）
関　晋吾（東京慈恵会医科大学附属青戸病院循環器内科）

演題７　培養心筋細胞における飽和脂肪酸負荷によるインスリン抵抗性とミトコンドリア形態の変化
○渡辺知幸（浜松医科大学第三内科）

演題８　Effects of nitric oxide on mitochondrial permeability transition pore and thiol-mediated responses in cardiac myocytes
○加藤秀樹（浜松医科大学第三内科）

演題９　慢性心不全運動療法中に心不全を再発する症例の臨床的背景
○宇賀田祐介（自治医科大学付属さいたま医療センター循環器科）

演題10　森林浴が生体に及ぼす生理学的効果の研究
○近藤照彦（群馬パース大学）

演題11　非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)と単純性脂肪肝(SS)との病態鑑別に有用な臨床指標に関する検討
○会田雄太（東京慈恵会医科大学附属青戸病院）

演題12　シェーグレン症候群患者末梢血におけるIFN関連遺伝子発現
○木本　理（浜松医科大学第三内科）

10:00～12:30　シンポジウム２　『分子標的治療の現状と問題点』

座長　川合眞一（東邦大学医療センター大森病院リウマチ膠原病センター）
小川法良（浜松医科大学第三内科）

S2-1　抗 TNF 製剤が炎症性腸疾患治療に与えたインパクト
〇渡辺　守（東京医科歯科大学消化器内）

S2-2　生物学的製剤がもたらした関節リウマチ治療の変革
〇小川法良（浜松医科大学第三内科）

S2-3　分子標的治療の現状と問題点～皮膚疾患～
〇石河　晃（東邦大学医療センター大森病院皮膚科）

S2-4　造血器腫瘍に対する分子標的療法の進歩
〇大西一功（浜松医科大学附属病院腫瘍センター）

S2-5　消化器がんに対する分子標的薬の展開
〇朴　成和（聖マリアンナ医科大学　臨床腫瘍学講座）

12:30～13:30　ランチョンセミナー　座長：吉村道博（東京慈恵会医科大学循環器内科）
『プロレニン受容体とレニン阻害薬との連関』
演者：千本松孝明（埼玉医科大学薬理学）

13:30～14:30　特別講演Ⅲ　座長：磯部光章（東京医科歯科大学循環制御学教授）
『質量顕微鏡法を用いた老化の研究（Ageing research by mass microscopy）』
演者：瀬藤光利（浜松医科大学分子イメージング先端研究センター教授）

14:30～15:15　教育講演Ⅱ　座長：相澤良夫（東京慈恵会医科大学附属青戸病院消化器肝臓内科教授）
『内分泌学的視点からみたストレスと疾患の最近の知見
～中枢から末梢への新たな展開」
演者：東條克能（東京慈恵会医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科教授）

15:15～15:30　閉会、優秀演題発表